



12月定例会の概要

平成24年12月定例会は、12月3日に開会し、18日間の会期で20日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告1件、予算案11件、条例案20件、その他7件、計39件、請願4件、その他3件、合計46件が上程されました。

その内、議案第113号が継続審査となり、請願4件が不採択、その他の案件については、原案のとおり可決、承認されました。

また、継続審査となっていた23年度決算3件は、認定されました。

【12月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
3日(月)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
10日(月)	本会議	一般質問(5名)
13日(木)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	原子力発電安全防 災対策特別委員会
14日(金)	委員会	総務委員会 民生文教委員会 産業建設委員会
20日(木)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は3月に開催の予定です。

市政をたず 一般質問



今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたずました。質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者			
No	質問者	No	質問者
1	遠藤素子	4	石崎久次
2	清水正治	5	岩田功次
3	大山政司		

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



遠藤素子議員

質問事項

- 1 市民の暮らしを応援する優しい行政のあり方を求める
- 2 「王子の森公園」のソフトボール競技場改修について
- 3 伊方原発は再稼働させず、使用済み核燃料の安全管理を徹底しながら、自然エネルギーの思い切った導入で雇用の創出を

市民の暮らしを応援する優しい行政のありかたについて

今、市民の暮らしは大変な状況にある。政府は消費税の増税を決めた。地方の自治体には、悪政のもとで苦しむ市民の暮らしを応援する優しさが強く求められる。

問 国保がないため医者にかかれない人があつてはならない。国保の滞納は国保料が高すぎることに根本的な原因がある。滞納者の状況を深くつかみ、優しい対応が必要。全ての世帯に国保証が届けられるよう工夫と努力を求めたい。

答 国保がないために医療を受けにくいという事態を招かないつもりでやっている。国保税を一生懸命支払っている市民との公平感を考えると、相談にきていただき、分納誓約などしていただければ、短期被保険者証をお渡しできる。

問 市営住宅の入居条件の緩和について。「空いていて、入りたい人がいるのに募集がない。独り者は入れない」などの状況がある。空いていて切実な要望がある時には、入居の条件を緩和して、独り者であっても受け入れるべきではないか。

答 市営住宅は同居親族がある方の入居を原則としているが、高齢の単身者も増加している状況を踏まえ、今後は公募を行った後、一定の期間入居希望がない場合、単身者の入居を可能とするなど、単身入居の

要件を拡大したい。

王子の森公園のソフトボール競技場改修工事に關して

問 愛媛国体に向けて、王子の森公園の大幅改修について「納得できない」「再考を求める」との声があるがどうか。

答 国体基準を満たす改修工事が必要になっている。11月の説明会で出された意見を踏まえ、緑地公園部分の面積の減少は6〜7%にとどめたい。また、公園自体のリニューアル期間を除けば、市民の通常の利用は可能と考えている。

伊方原発について

問 福島原発事故は核と人類は共存できないことを明らかにした。電力は足りている。日本の自然エネルギーは全原発の40倍の可能性がある。導入すればコストはどんどん安くなり原発の13倍の雇用を生む（ドイツで）。再稼働すれば核廃棄物は増え続ける。廃炉を決定すれば、そのための雇用が、数十年間必要になる。伊方原発は再稼働させず、安全管理を徹底しながら自然エネルギーの導入で雇用の創出をはかるべきではないか。

答 原発事故はあってはならない。原子力規制委員会では新安全基準・対応方針が示されることになっている。伊方原発の安全対策は順次実施されている。自然エネルギーについては多くの検証が必要だ。



清水正治議員

質問事項

- 1 通学路総点検について
- 2 公共施設耐震総点検について
- 3 原発問題について

問 ① 長谷小学校の統廃合による千丈小学校までの通学路の確保の重要性。

② 江戸岡小学校南側、JRの踏切から上流辺りのガードレールの設置。

③ 祇園橋麓から清滝橋に至る線路そばの街灯について。

答 通学路等のガードレール、ガードパイプ及びカーブミラー設置は地元交通安全協会を通じて総務課に要望していただき、地域性を考慮し現地調査をして予算の範囲で危険なところから優先的に設置している。防犯灯については市の補助金制度に基づき一基一万円を限度に補助をしております。地域を代表する区長、民生委員、町内会長より青少年センターを通じて申請していただくようにしている。

問 大型公共施設は防災の上で早く耐震診断をして、改修が必要な所は実施されるべきと思つ、その上で改修とともに大切なことは洋式トイレの設置が望まれる。

答 公共施設の耐震診断は小・中学校の体育館、市営住宅等は計画的に耐震対策を実施している。市民会館等は今後のあり方も含め検討している。

その他の公共施設も緊急性、利用度を総合的に見きわめた上で優先度を判断しつつ耐震改修を進める。洋式トイレの設置も市庁舎、保健センター、市民会館や17地区公民館等も含め必要な施設の洋式トイレをふ

やしていく。

問 報道によると30キロ圏内では甲状腺被曝を防ぐ安定ヨウ素剤が有効とあるが、隣接地の八幡浜市はこの安定ヨウ素剤の確保はできているか。また、万が一服用した場合の副作用に問題はないか。

答 ヨウ素剤の確保は呉八幡浜支局、原子力センター、保内保健福祉センター及び保内地域の小・中・高6校合わせて9万5000丸の備蓄がある。副作用については発熱、関節痛、浮腫、嘔吐、下痢等の症状が極めてまれに発症する時があり特にヨウ素に対する過敏症、甲状腺疾患、腎機能疾患患者等へは投与しない。服用範囲等は市としては原子力規制委員会の検討結果が出た段階で対応する。



大山政司議員

質問事項

- 1 政権交代に対する市長の所見について
- 2 市長の市政運営に対する自己採点について
- 3 公共サービス基本法について
- 4 公契約条例の制定について

政権交代に対する市長の所見について

問 第45回の総選挙において、国民は政権交代を選択し、この政変は日本の憲政史上初めてであり、自民党政治を根底から転換し、国民主権に基づく国民本位の政治を期待したものである。

しかし、沖縄普天間基地問題、三・一一の東日本大震災後の命と復興課題さらに消費税増税法案の強行採決など国民意思との乖離現象で国民の信頼を失った実態について市長の率直な所見を伺う。

答 民主党のマニフェストでは、高校授業料の無償化、農家への戸別所得補償制度の導入など一部公約は実現できた。

しかし、事業仕分けや公務員制度改革、特別会計の埋蔵金の捻出、子供手当、高速道路の無料化、年金制度改革など多くの国民の期待に反する結果も事実である。

市長の市政運営に対する自己採点について

問 平成24年9月議会において議員からの一般質問で、政治公約の達成率は何%ぐらいかの問いに対し、市長は答弁で、安心・安全なまちづくりは、58%、行政改革は60%、産業振興は70%の自己評価であった。さらに、市政運営については、1000点満点で、62・6点の自己評価とされた。

仮に、市政運営の達成率や自己採点について問われても、具体的な数値を市民に明

らかにすることは差し控える謙虚さがあつてはと思うが。

答 3年半の実績を自ら採点し、これを公表することで、市民の皆様から評価をいただく目安とするともに、合わせて次期市政に向けられた問題点を明らかにし、さらなる八幡浜市の発展につなげたい思いからの発言である。

公契約条例の制定について

問 国や地方公共団体では、公共サービスの効率化や公契約のコストダウンが求められている。

そのことが、公共事業や委託業者などの過当競争と受注価格の低下で労働者の低賃金労働の悪化を招いている。

そこで、良質な公共サービスの安定的提供のため市長は契約の締結及び権限を規定した公契約条例の制定をすべきだと思つが。

答 当市においても受注競争が過熱し、低入札に至る場合も見受けられるが、市は低入札を抑制するための対応を進めており、当面条例は必要ないものと考えている。





石崎久次議員

質問事項

- 1 水産資源保護について
- 2 学校統廃合について
- 3 行財政改革について
- 4 病院の問題について

水産資源保護について

問 ① 八幡浜市近海の漁獲量が減っているのか、調査はされているのか。

② 高度衛生管理型の立派な魚市場が来春オープンするが、取扱量を増やす対策は考えているのか。

答 ① 資源量の減少もあるものの、どちらかといえば、漁船隻数が減少したこと、特に大中型巻き網漁業と沖合底引き網漁業の操業隻数の減少が大きな原因である。

② 当市の市場は、他の魚市場より知名度が高く、衛生管理を全面に打ち出すとともに、他地区からの集荷量で増やしていく考えである。

学校統廃合について

問 市長の使い継ぐ文化財、現役の小学校としてというコメントと学校再編整備計画案との整合性は。

答 日土小学校は現役の小学校として使用していくことが最もふさわしい。学校統廃合の中でも配慮する必要があるのではないかと考えている。

行財政改革について

問 ① 当市の行われてきた実績、現在の状況は。

② 契約検査の書類が過去に比べて増えている様だが、それほど必要な事なのか。

答 ① 10万円以上の団体運営補助金38

件を対象に見直しを実施した結果、806万円の減額を実現した。また、本庁関係の職員を3カ年で31人削減した。

② 平成17年3月制定の公共工事の品質確保の促進に関する法律により品質確認の書類が増加したが、最近になって増やしたことはない。

再問 ② どうしても必要な書類なのか。もう一度その辺を考えてもらいたい。

再答 ② 直接業者の方々から伺ってみて、判断した後に、適正な検査になるように、改善できるところは改善していきたい。

病院の問題について

問 ① 今年度末に看護師の退職者が多いのはなぜか。

② 看護師の離職に対する防止策、新たな雇用を生むための魅力的な病院づくりが必要ではないか。

答 ① 若い世代では、結婚、配偶者の転勤。中堅以上では、家族や親の介護の問題が主な理由である。

② スキルアップのための研修会や講習会への参加支援、資格取得への助成など、人材育成のための教育制度の充実を図る。また、人員不足による過重労働という大きな要因と考えており離職防止対策とともに、病院改革という明るい材料もあり、新規確保に全力を挙げて取り組む。



岩田功次議員

質問事項

- 1 トンネルの安全について
- 2 観光と景観について

トンネルの安全について

問 皆様ご存じのように、夜昼トンネルも事故のあった笹子トンネルと同型の天井構造のトンネルだ。高度成長期に建設された道路関連の施設は40年が経過しており壊れる要素がある。夜昼トンネルの安全確認は、大洲土木事務所が行ったが、原子力発電所と同じように、トンネルの安全神話も崩れてしまった。

夜昼トンネルの安全について、天井固定用アンカーボルトの種類と材質は何か。コンクリートの状況と安全対策を伺う。

答 笹子トンネルはケミカルアンカーだが、夜昼トンネルはホールインアンカーが使用されている。材質は通常の鋼材だ。トンネルのコンクリートは直ちに補修しなくてもよいレベルで、今後は国の動向を見ながら対応する。

問 ウィキペディアで「観光」を調べてみると、楽しみを目的とする旅行のことを指すとある。春にオープンする港の地域交流拠点施設が「楽しみのおふれる場所」になる事を願い観光と景観関連についての質問と提案をする。

周辺の景観整備も必要だが、錆だらけの廃車を利用した倉庫が何年も放置され、漁網・漁具と廃車のゴミ捨て場に見える場所がある。また、海辺の荷揚げ場に常時、無断駐車している車が多くあり、歩行の障害や景観・ゴミになっている場所もある。解決策を伺う。

答 臨港道路の拡幅工事に伴い、工事に支障となる物品の撤去が必要であるため、八幡浜市では地区住民や関係者に対して文書による要請や警告の張り紙などの巡回指導に加え、不法駐車を抑制するための歩車道ブロックを設置するなどの対策を実施している。

観光と景観について

問 イベントバス運行の提案をする。オープンしてすぐには座敷離がある。芝桜まつり、諏訪崎まつりもある。夏の平家谷そうめん流しは観光客の楽しみになる。日土小学校見学会、保内のまちなみ見学、双岩コスモまつりや市内全域での観光みかん刈りなどは、有料・無料を問わず、「港の地域交流拠点施設」が交通の拠点になるべきであり、イベントバス・レンタル自転車などが必要だ。またイベントクルージングの提案もする。海から座敷離観光、大島、おさかな牧場に行くのも港町らしい。民設で商売をまかせたのだから、アトラクションも、どーや市場も商売繁盛するような、イベントを計画するべきである。多くの市民が豊かになれる仕組みを計画する事を望む。

答 交流拠点施設周辺のバス停の位置や運行路線の見直しなど大切だと考えている。イベント等市が仲介することで全体がスムーズにいくように考えていく。

また、イベントバス・レンタル自転車などが必要だ。またイベントクルージングの提案もする。海から座敷離観光、大島、おさかな牧場に行くのも港町らしい。民設で商売をまかせたのだから、アトラクションも、どーや市場も商売繁盛するのような、イベントを計画するべきである。多くの市民が豊かになれる仕組みを計画する事を望む。

総務委員会報告

上田 浩志 委員長

議案第76号 辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更について

問 磯崎のバス購入は、非常にいいことだが、こういう地域は他にもあるのではないかと、ここが取り上げられたのは何故か。

答 このバスについては、旧保内町の時代に、磯崎には診療所があったが、医師がいなくなり、診療所を閉鎖せざる得なくなつた状況の中で、当時の保内町としては、その対策として集落と医療機関をつなぐ無料のバスを循環させたという経緯がある。このような特別な事情があることから、引き続き診療バスを走らせたいと考えており、この度、新しいバスを購入したい。

議案第113号 指定管理者の指定について

「みなと交流館等指定管理業務」について、市議会協議会で概要説明があつたことに加え、再度、指定管理業務としての職員の人員配置、勤務体制、勤務条件、業務内容等について詳細な説明があつた。

問 管理料の上限額を見ると人件費の積算が高すぎるのではないか。

答 人件費については、既に指定管理者制度を導入しているスポーツセンター、やすらぎ聖苑などの類似施設を参考にした。なお、この額は直接、支払う給料だけでなく、会社として必要な法定福利費なども含んだものである。

問 みなと交流館等指定管理料について、

指定管理団体が2つあるが、誰に対して支払うのか。

答 両団体と協定書を交わしたいと思つているが、代表団体として「NPO法人 港まちづくり八幡浜」となつているので、委託料の支払先は代表団体の方になる。

問 この指定管理のあり方について、業務の執行上、制度的には問題は無いのか。

答 今回の指定管理業務が多岐にわたることも踏まえ、本市では初めてのケースであるが、公募の段階でグループ申請を認めることにした。

指定管理者の指定については、長時間に渡り審議し、理事者の誠意ある答弁があつたが、八幡浜市の港の開発は、大事な事業であり、議会としても是非、成功してほしいと考えている。もう少し、慎重な議論を重ねてはどうかと思うとの意見があつた。そこで、当委員会にて、この議案について継続審査とすることについて諮つたところ、賛成多数により、閉会中の継続審査とすることになった。

その他、議案第100号 平成24年度八幡浜市一般会計補正予算(第6号)に関し、人事管理費における時間外手当、水防費の太陽光外灯設置工事等々についても種々論議された。

民生文教委員会報告

新宮 康史 委員長

議案第90号 八幡浜市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する

条例の制定について

今回改正は、地域主権改革一括法の規定による改正と、今日まで課題となつてきた資源ごみの持ち去り禁止条項を新たに盛り込むものであるとの説明を受けた。

問 八幡浜市において、資源ごみを持ち去られた事例はあるのか。

答 松山周辺に資源ごみの持ち去りをする業者がある。松山市が罰則規定を設けた後、周辺に広がり八幡浜市においても、1年半ほど前に資源ごみの持ち去りをする業者が来た。パトロール中に資源ごみ持ち去り行為を目撃し、注意をした経緯がある。

長谷地区スクールタクシー運行業務委託について

問 長谷地区におけるスクールタクシーはどのような使い方をするのか。

答 長谷地区のスクールタクシーの運行は、登校にジャンボタクシーを1便、小中学生を一緒に乗せて千丈小学校と松柏中学校に運び、下校の際は中学生を中型タクシー1便、小学生を小型タクシーで低学年1便、高学年1便合わせて2便を走らせて送り迎えをする。業者は、入札により、ジャンボタクシー、中型タクシー、小型タクシーの車種ごとの1キロメートルあたりの運賃単価の合計により決定し、単価契約にしようと考えている。

赤レンガ倉庫活用に伴う調査算定等委託料について

問 土地、建物の鑑定としては、委託料1088万9000円までかからないのではないか。

答 赤レンガ倉庫の土地は、約1100坪程度ある。そして、その土地の上に建っているのが、赤レンガ倉庫を含めて8棟、工場とか作業場がある。現在、所有者の方は製材業を営んでおり、機械が沢山入っている。それらを全て評価することでこういう金額になつた。委託料は概算見積を基にしている。

産業建設委員会報告

樋田 都 委員長

中山間地域等直接支払制度交付事業交付金返還金について

問 返還金は、どういった内容で必要になつたのか。

答 平成23年9月16日から21日にかけての台風15号による降雨により、幅20mから40m、斜長100mの規模で、布喜川集落の農地が崩落した。当初復旧が見込まれていたが、交付金決定後、農地管理者より、脱退の希望があつたため、平成23年度の交付金を愛媛県に返還するものである。

農道補修原材料費に関連して

問 1ヶ月ぐらい前だったと思うが、地方紙にこの原材料支給(生コン支給)に不正があつたかのように出ていたが、実際はどうであつたのか。

答 地方紙に記事が出た当時、その関係箇所を調査したが、その結果個人の所有に係るものではないと判断している。

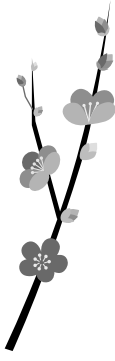
八幡浜港北浜第2棧橋撤去工事費について

問 北浜第2棧橋の撤去工事費として、3000万円計上されているが、本当に必要であるか。どのような内訳になっているのか。

答 北浜棧橋は、昭和4年に建設され、大島町の棧橋として利用してきたが、来春から供用開始となる新たな製氷施設の積み込み後の船舶の航行に支障があることから、今回2函あるうちの1函、沖側の第2棧橋を取り壊しすることにした。棧橋は、縦9m、横22m、厚さ3mで400トンある。予定では、棧橋を固定しているチェーンを切断後、諏訪崎の最終処分場に曳航、陸揚げ後に取り壊し、運搬、処分する。

この撤去工事費、3000万円の内訳は、起重機船のチャーター料で1170万円。この起重機船は、四国にはなく八幡浜港に一番近い北九州から運ぶものであり、この回航費として700万円。またコンクリートの塊である第2棧橋を陸揚げ後、崩す費用が715万円。その他、水中のチェーンを切断する費用等が必要になる。

なお、今回撤去する第2棧橋を他に利用することはできないか、例えば漁礁にすることはできないか考えたが、関係機関、特に海上保安部では、漁礁を目的に造ったものであれば問題ないが、今回の場合は廃棄物に該当することであった。そのため、今回撤去する第2棧橋を漁礁用に工作するとなるとかえって高くなる。そのため、最終的に、今回の方法が一番安上がりであると考え。



議会改革特別委員会報告

清水 正 治 委員長

委員会では一昨年の設立以来、市議会議員の定数削減について時間をかけて論議してきた。

議員定数について委員会では削減の方向を決定し、具体的な削減数は市議会協議会において議員定数を3人削減することで方向性が決定した。

これを受けて委員会提出議案として平成24年12月本会議に「八幡浜市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について」を提出した。

議会改革特別委員会では、今日、議員みずから行財政改革に取り組む中で、議員定数については、愛媛県下の各市議会の状況、人口や面積、条例定数や議員一人当たりの人口、さらには、全国の類似団体93市議会の状況等も参考にして検討協議してきた。

特別委員会では、八幡浜市における将来の人口予想や、ここ近年の他市の動向を見ると八幡浜市議会としても定数削減はやむを得ないという意見がある一方、市町村合併以来、議員定数はずっと減っており、これ以上定数を削減すれば市民の声が反映出来ないという議論もあり、去る11月29日に開催された市議会協議会において全議員の投票結果をふまえ今回の提案に至った。

その内容は、議員定数を現在より3人削減し、八幡浜市議会議員定数条例で定める議員の定数を16人とするもので、平成24年12月本議会最終日、議会改革特別委員会とし

て提出し、可決決定致した。これによって愛媛県下11市の中で議員定数は最下位となる。定数を3人削減することで、4年間で約5500万円の減額が見込める。なお、こ

の条例は附則において施行期日は公布の日から施行し、経過措置として次の一般選挙から適用するものである。

行政視察報告

委員会	総務委員会	民生文教委員会	産業建設委員会
視察日	10月22日～24日	11月12日～14日	10月15日～17日
視察先	○福岡県うきは市 オリーブ栽培による地域活性化の取り組みについて ○福岡県福岡市 自然エネルギー・風レンズ風車の取り組みについて ○福岡県大野城市 防犯灯・街路灯 LED化による節電の取り組みについて	○兵庫県小野市 いじめ等防止条例について ○滋賀県高島市 高島市民病院整備について ○奈良県御所市 水平社博物館について	○沖縄県糸満市 道の駅「いとまん」について ○沖縄県石垣市 観光基本計画について 公設市場運営の取り組みについて
視察風景	 大野城市	 小野市	 石垣市

12月定例会 審 議 結 果

番 号	件 名	審議結果
認定第1号	平成23年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第2号	平成23年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	認 定
認定第3号	平成23年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	認 定
報告第16号	専決処分の報告について(平成24年度八幡浜市一般会計補正予算(第5号))	予算額 2,154万2千円 原案承認
議案第76号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案第77号	市道路線の認定について(市道谷川線)	原案可決
議案第78号	市道路線の変更について(市道大平斐光園線)	原案可決
議案第79号	「八幡浜市公共下水道八幡浜浄化センターの建設(水処理再構築)工事委託に関する協定について」の議決変更について	原案可決
議案第80号	八幡浜市財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第81号	八幡浜市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第82号	八幡浜市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第83号	八幡浜市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第84号	八幡浜市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第85号	八幡浜市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第86号	八幡浜市立へき地保育所条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第87号	八幡浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第88号	八幡浜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第89号	八幡浜市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第90号	八幡浜市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第91号	八幡浜市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第92号	八幡浜市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第93号	八幡浜市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定について	原案可決
議案第94号	八幡浜市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第95号	八幡浜市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第96号	八幡浜市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第97号	八幡浜市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第98号	八幡浜市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第99号	八幡浜市水道法施行条例の制定について	原案可決
第100号~第108号	平成24年度八幡浜市一般会計補正予算(第6号)外8会計	予算額 7億2,194万5千円 原案可決
議案第109号	平成24年度八幡浜市水道事業会計補正予算(第2号)	予算額 1,412万3千円 原案可決
議案第110号	平成24年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算(第2号)	予算額 5,110万8千円 原案可決
議案第111号	「八幡浜漁港高度衛生管理型荷捌所建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について	原案可決
議案第112号	「八幡浜漁港高度衛生管理型荷捌所機械設備工事請負契約の締結について」の議決変更について	原案可決
議案第113号	指定管理者の指定について	継続審査
請願第20号	脱原発と再生可能エネルギーへの転換を求める請願書	不採択
請願第21号	安全・安心社会を実現するため公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める請願書	不採択
請願第22号	MV-22オスプレイの配備撤回と低空飛行訓練の中止を求める意見書採択についての請願	不採択
請願第23号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書	不採択
委員会提出 議案第1号	八幡浜市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議員提出 議案第4号	八幡浜市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議員提出 議案第5号	八幡浜市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。
そのほかについては全員賛成で可決されました。

議席	氏名	議案の可否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
			岩田功次	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	魚崎清則	二宮雅男	遠藤素子	清水正治	宇都宮富夫	兵頭孝健	上田竹則	松本昭子	住和信	中岡庸治	宮本明裕	大山政司	萩森良房	
議案番号																						
認定第1号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第100号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第20号	否	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	○	×	×
請願第21号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第22号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第23号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×
委員会提出議案第1号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

[○：賛成 ×：反対 宇都宮富夫議長は採決に入っておりません]

議会日誌(H24.3.23~H24.6.4)

◆委員会活動状況

- 9月20日 市議会協議会開催
- 26日 民生文教委員会開催
- 28日 議会改革特別委員会開催
- 10月3日 決算審査特別委員会開催
- 5日 決算審査特別委員会開催
- 9日 議会だより編集委員会開催
- 12日 議会改革特別委員会開催
- 15日 産業建設委員会行政視察(沖縄県糸満市・石垣市)(~17日)
- 22日 総務委員会行政視察(福岡県うきは市・福岡市・大野城市)(~24日)
- 29日 民生文教委員会開催(病院事業決算審査)
- 30日 産業建設委員会開催(水道事業決算審査)
- 11月1日 市議会協議会開催
- " 議会だより編集委員会開催
- 12日 民生文教委員会行政視察(兵庫県小野市・滋賀県高島市・奈良県御所市)(~14日)
- 22日 民生文教委員会開催
- 26日 議会運営委員会開催
- 29日 市議会協議会開催
- " 議会改革特別委員会開催

◆庶務関係

- 9月25日 議長ほか議員が八幡浜市大島産業振興センター開所式に出席
- 10月2日 土佐清水市議会新正副議長が就任挨拶のため来訪

- 5日 第23回なくせじん肺全国キャラバン愛媛県実行委員会一行が陳情のため来庁
- 8日 議長が愛宕山慰霊塔まつりに出席
- 9日 北海道根室市議会議員一行(4人)が視察研修のため来庁
- " 愛知県犬山市議会議員一行(6人)が視察研修のため来庁
- " 宇和島市議会新正副議長が就任挨拶のため来訪
- 10日 福島県福島市議会議員一行(4人)が視察研修のため来庁
- " 正副議長ほか議員が「第7回全国市議会議長会研究フォーラムin松山」に出席(松山市)
- 19日 国民の食糧と健康を守る運動愛媛連絡会一行が陳情のため来庁
- 24日 愛媛県医療労働組合連合会、自治労連愛媛県本部医療評議会、愛媛地方労働組合連合会及び愛媛県国家公務員労働組合共闘会議一行が請願のため来庁
- 30日 自衛隊愛媛本部長来訪
- 31日 千葉県八街市議会議員一行(4人)が視察研修のため来庁
- 11月6日 正副議長ほか議員が国道197号千丈トンネル建設工事安全祈願祭に出席
- 12日 2012社会保障拡充県内キャラバン一行が陳情のため来庁
- 20日 八幡浜法人会が陳情のため来訪
- 22日 議長が第51回八幡浜商工会議所優良従業員表彰式に出席
- 30日 第64回全国人権・同和教育研究大会に議員出席(岡山県倉敷市、岡山市)(~12月2日)

編集後記

議員自身の編集による「議会だより」が市民のみならず、一年に届くようになって、一年になります。

少しは、議会の様子が見えるようになったでしょうか。昨年12月議会は総選挙と重なったせいか質問に立った議員は5名でしたが、この一年を振り返ってみますと、質問者が少しずつ増え、その内容も豊かになってきた気がします。これからも市民のみならずの代弁者として開かれた議会となるよう努めてまいります。

「議会だより」をご覧になったご感想などお寄せいただければ幸いです。

《議会だより編集委員》

- 委員長 石崎久次
- 副委員長 遠藤素子
- 委員 樋田都
- 委員 岩田功次
- 委員 井上和浩
- 委員 二宮雅男
- 委員 清水正治

☎ 八幡浜市議会事務局
代 22・3111